

結城崇史（ゆうき・たかふみ）



長年にわたり、映画やドラマ・大型作品の映像制作に携わる。特にVFX（視覚効果）分野の第一人者として知られ、NHK大河ドラマ『坂の上の雲』ではVFXプロデューサーを務め、明治期の戦争シーンや大規模な海外ロケ映像を、最新の映像技術と演出力でリアルに再現した。

同作では、国内撮影にとどまらず、海外でのロケーション撮影や国際的な制作チームとの連携にも深く関わり、日本のテレビドラマが世界水準のクオリティに到達する過程を現場で牽引。

その経験を生かし、以降も数多くのNHKや民放ドラマ・映画などの映像作品において、技術と物語を融合させる制作手法を確立してきた。

本講演では、松山を舞台とした名作『坂の上の雲』の制作秘話を中心に、

「ドラマはどのようにして世界に届くのか」

「映像技術は物語をどう進化させるのか」

を、制作現場ならではの視点で語る。

【結城崇史氏作品歴】

- ・坂の上の雲（テレビドラマ）（2009年～2011年）VFXプロデューサー/海外制作プロデューサー
- ・負けて勝つ（2012年）VFXプロデューサー/キャスティングプロデューサー
- ・八重の桜（2013年）VFXプロデューサー/海外制作プロデューサー
- ・サイレント・プア（2014年）VFXプロデューサー
- ・ボーダーライン（2014年）VFXプロデューサー
- ・特集ドラマ 生きたい たすけたい（2014年）VFXプロデューサー
- ・2030 かなたの家族（2015年）VFXプロデューサー
- ・進撃の巨人（2015年）VFX
- ・真田丸（2016年）VFXプロデューサー
- ・海底の君へ（2016年）VFXプロデューサー
- ・聖の青春（2016年）VFX
- ・精霊の守り人（2016年～2018年）プロデューサー/VFXプロデューサー
- ・東京裁判（2016年）プロデューサー
- ・Ah Boys to Men 4（2017年）プロデューサー
- ・どこにもない国（2018年）VFXプロデューサー/海外制作プロデューサー
- ・曇天に笑う（2018年）VFX
- ・いだてん～東京オリンピック嘶～（2019年）VFXプロデューサー/海外制作プロデューサー
- ・パラレル東京（2019年）VFX
- ・NEC LAVIE VEGA 「CREATOKYO VEGA 解放篇」（2020年）
- ・天使にリクエストを～人生最後の願い～（2020年）VFXプロデューサー
- ・鎌倉殿の13人（2022年）プロデューサー/VFX/DX担当
- ・舞いあがれ！（2022年～2023年）プロデューサー（VFX/DX担当）
- ・桜色の風が咲く（2022年）製作総指揮・プロデューサー
- ・新宿野戰病院（2024年）VFXプロデューサー
- ・アズワン / AS ONE（2025年）製作総指揮・プロデューサー